

主体的な学びを促す カリキュラム・デザインとは －FDの課題とIRの可能性－

山田 剛史 氏 (愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 准教授)

講演概要

現在、日本の大学教育においては3つのモードシフトが進行している。第1は教授者から学習者への視点のシフト、第2は正課教育から準正課教育、正課外活動への成長ステージの拡張、第3は授業(ミクロ)からカリキュラム(ミドル)、組織(マクロ)へのFDの拡張である。

この改革転換期において、学生の主体的な学びを促すためのカリキュラムの実態はどのようなになっているのか。本セミナーでは、全国の学科長等カリキュラムの責任担当者を対象に行った調査を中心に、FDの課題やIRの可能性を含め議論を深めていきたい。

2013年7月19日(金) 16:00 – 18:00

場所：名古屋大学 東山キャンパス 文系総合館 7F オープンホール

お問合せ先：info@cshe.nagoya-u.ac.jp Tel: 052-789-5696

ご参加いただける方は、事前に上記メールアドレスまでご一報いただくと助かります。
会場準備の都合によるものですので、必須ではありません。